

政策	51 学校教育の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	無	
対象							
施策が目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な教育プログラムの導入により「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた学校教育の推進を図る。</li> <li>・充実した学校教育を支える教育体制や学校施設の確保、教育環境の均等を保つ学校の適正配置を進める。</li> <li>・地域社会が一体となった総合的な教育環境の充実を図る。</li> </ul>						
成果指標	保護者の学校教育に対する満足度						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定					85.00
		実績	85.00	92.80			
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	4,847,258	5,561,369	0	0	0	
	実績	4,668,862	5,214,145			0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す「将来を担う心身ともに健やかな人材の育成」には、本基本施策での目標達成による基本方針への貢献度は高い。					
	達成状況	学校評価における満足度調査において、昨年度を上回る数値が出ており、成果指標の目標値を超える結果となっていることから満足度は達成できている。					
	課題	現状の保護者の満足度を今後も維持できるよう、各施策の課題の解決を図る。					
	取組方針	今後も各施策の取り組みを強化し、満足度の向上に努めていく。					
外部評価	<p>本施策の成果指標である保護者の学校教育に対する満足度は、学校評価における満足度調査結果から順調に推移していると評価され、計画最終年度での目標達成が十分に期待できる。</p> <p>また、調査も毎年度実施しており、学校ごとに定着された調査結果からの吸い上げであるため、保護者の意向を押し量る上では、信ぴょう性の高い数字であると判断され、関係課の取組みは大いに評価できるものである。</p> <p>ただし、下位単位施策では目標未達となっている指標もあるため、引き続き工夫・努力されたい。また、保護者の満足度のみで本施策の成果を判断して良いかについても検討の余地があるため、次期計画においては、毎年度に成果を判断できる指標（全国学力調査等）を設定できるよう、現段階から検討を進めておくこと。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5102	豊かな心及び健やかな体の育成				1,951,073	100
	5103	魅力ある教育環境の充実				2,962,777	100
	5104	一貫性のある教育の充実				59,667	99
	5101	確かな学力の育成				241,628	98